

若手公衆衛生医師の活躍



本日の内容

01 **なぜ公衆衛生医師へ？**

臨床から見た社会の仕組み

02 **保健所の仕事**

感染症対応を中心に

03 **研修とキャリア**

社会医学系専門医研修で広がるフィールド

04 **公衆衛生の楽しさ**

数万人規模の健康に貢献する実感

経歴：臨床から保健所へ

臨床経験を経て、2023年に公衆衛生の現場へ



公衆衛生医師になった理由

臨床での問いが、「地域を診る仕事」につながった

01 生活を支える視点

退院後・在宅・家族を支えるには、
地域の資源をどうつなげばよいのか。

02 制度との接点

肝炎・難病助成、依存症の家族支援、
在宅がん療養の調整に関わった経験。

03 仕組みを動かす仕事へ

社会資源を知り、制度を活かし、
地域全体の健康を守る仕事に興味を持った。

保健所における公衆衛生医師の役割と業務

地域を“診る”視点で、住民の生命と健康を守る

保健所は、地域保健の第一線機関。

公衆衛生医師は「個別の診療経験」を、地域全体の診断・判断・仕組みづくりに活かします。

地域診断

地域を
診る

データ・相談・現場から
健康課題を把握

専門判断

リスク
を
判断

医学的根拠をふまえ
対応方針を決める

連携調整

人を
つなぐ

医療・福祉・学校・行政を
横断的に調整

施策実装

仕組み
を
動かす

事業化・評価・訓練で
地域の対応力を高める

保健所での主な業務フィールド

感染症・健康危機管理

疫学調査／発生動向
クラスター対応
災害・訓練・体制整備

疾病予防・健康づくり

生活習慣病対策
地域住民への普及啓発

相談支援・地域医療

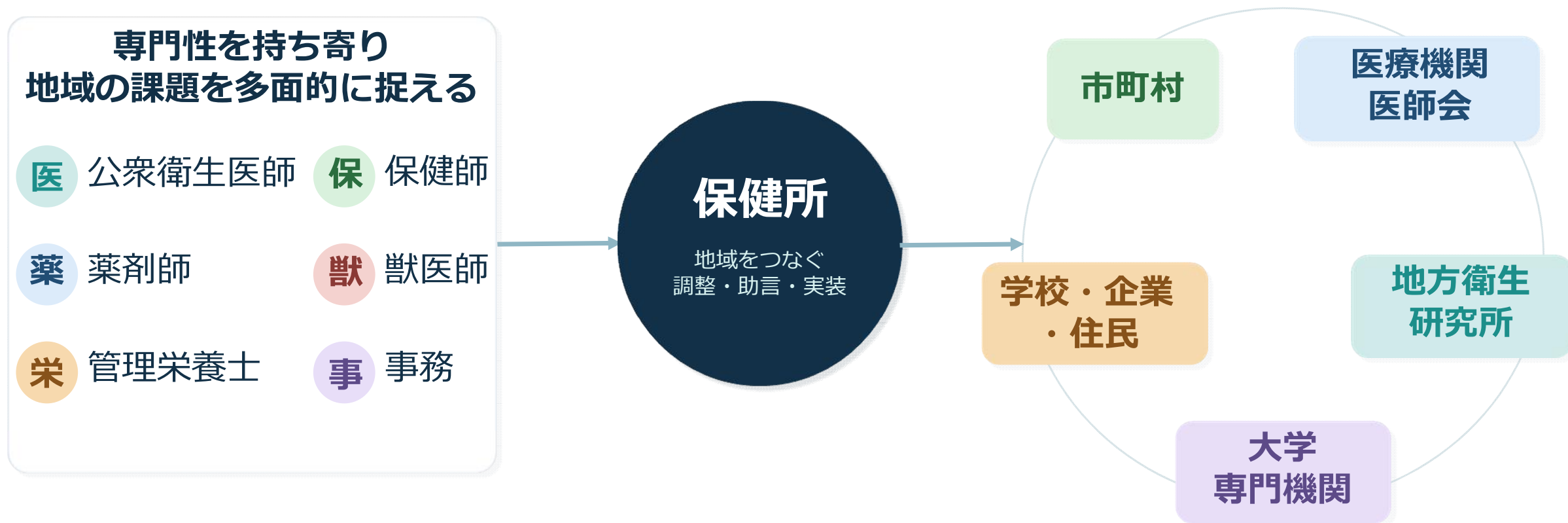
精神保健／難病／母子
医療提供体制の調整
地域包括ケアの推進

生活衛生・医事薬事

食品・環境衛生
医療機関・薬局等との連携
許認可・監視指導の助言

保健所は地域公衆衛生を動かす「協働のハブ」

多職種の専門性を束ね、関係機関と連携して、地域の健康課題を考える



保健所での仕事：北部保健所での3年間

中心は感染症対応。加えて、災害対策・精神保健・健康増進など幅広く関わる。

地域の健康リスクを 見つける・調べる・現場を支える 仕事

中心業務

感染症対策

高齢者施設・児童福祉施設のクラスター指導／HIV・梅毒検査
／発生届の受理と積極的疫学調査／結核診査会

災害対策

所内研修
DHEAT研修
現地保健医療福祉
調整本部研修

精神保健

措置診察対応
自殺対策会議
にも包括

健康増進

健康づくり対策
地域の予防活動
生活習慣の改善支
援

社会医学系専門医とは

個人だけではなく、集団・社会システム全体へアプローチする専門医

**健康課題を「診断」し、
社会の仕組みで「治療」する。**

人々の健康保持・増進、傷病予防、
リスク管理において、組織・行政
・地域社会でリーダーシップを発
揮する専門家です。

臨床能力

倫理的行動

分析・評価

教育・指導

組織管理

研究還元

コミュニケーション

パートナーシップ

ひろしま社会医学系専門医研修プログラム

広島県・広島市・広島大学が連携し、行政で働く医師を育成する3年間の研修

01 産官学連携

県・市・大学と
関係機関が連携

02 広島独自施設

多彩な実践現場を
選択しやすい

03 MPH

研究力を養う

04 幅広い分野

行政・産業・医療・
教育研究を経験

1年目

基本知識・技能の習得

2年目

実践現場での応用

3年目

経験・技能の強化と発展

主分野

行政・地域

保健所などでOJT

副分野

産業・環境

職域機関で実践学習

副分野

医療

医療機関で実践学習

教育・研究

調査研究

論文作成・発表へ

わたしの専門医研修：1-2年目

保健所OJTを軸に、行政・産業の実践現場で学ぶ

2024年度 / 入庁2年目

行政

保健所業務中心のOJT
ひろしまCDCで感染症業務協議に参加
広島市南区保健センターでHIV・梅毒
検査、4か月健診
DHEAT研修

産業

認定産業医取得に向けた産業医研修会

2025年度 / 入庁3年目

行政

1年目同様、保健所OJTを継続
ひろしまCDCで感染症業務協議に参加
FETP初期導入講習受講
検疫所見学

産業

マツダ株式会社で職場巡視・復職面談・
健康教育など
認定産業医取得

今後の専門医研修で広げたい経験

行政・医療・産業をつなぎ、より広い視点で地域の健康課題を捉える

行政

保健所でOJTを継続
食品衛生
医事・薬事など
未経験分野へ

医療

広島大学病院
医療安全部で
医療安全を学ぶ

産業

衛生委員会等に参加し
職域の健康管理を
実践的に学ぶ

研修の目的は「経験を増やす」だけでなく、
多くの人とつながりを作り、
現場で得た気づきを地域の施策へつなげる力を育てること。

公衆衛生の楽しさ

保健所の仕事は、地域の未来を少しずつ変えていく仕事

地域全体を
診る

病気を
予防できる

多職種と
協働できる

社会の仕組みを
動かせる

毎日違う課題に
出会える

数万人規模の健康に
貢献できる